

■日時 令和4年8月16日(火) ■天候 曇り クラーク記念国際高校 名古屋・通 対 広島市立広島みらい創生高校・定通  
 ■球場 駒沢硬式野球場 第1試合 2回戦 ■試合時間 2時間49分 ■備考  
 ■審判 球審:大和 塁審:須田 田島 小松

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
クラーク 名古屋	東海	0	1	1	1	2	1	0	0	0						6	3	6
広島みらい創生	西中国・広島	5	1	0	0	4	0	0	0	×						10	6	5

### クラーク 名古屋

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	遊	袴田 智彦	3	2	1	0	四球	二飛		中3		遊失		四球					
2	三投	伊藤 陸也	4	1	0	0	三振		四球	三振				遊併					
3	投捕	小松 龍平	2	1	1	1	四球		三振		四球	左2			四球				
4	一三	黒田 健裕	3	0	0	0	三振		四球		捕飛	左飛			四球				
5	捕一	東山 将大	4	1	0	1	三振		四球		中失		遊失		三振				
6	二	並田 隼人	3	1	0	1		死球	二ゴ		三ゴ		四球		二飛				
7	中	塩瀬 翔大	4	0	1	0		二飛	一ゴ		右2		遊飛						
8	右	柴田 崇博	3	0	0	0		四球		三振	三振		三ゴ						
9	左	高木 大河	3	0	0	0		三振		三振		三振		四球					
合計			29	6	3	3	残塁:9 併殺:1												
備考																			

#### ■バッテリー

投手	捕手
小松 龍平	東山 将大
伊藤 陸也	小松 龍平

#### ■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
小松 龍平	1/3	5	1	0	4	4	19
伊藤 陸也	7	2/3	38	5	11	2	135

### 広島みらい創生

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8					
1	中	松本 総一郎	3	2	2	0	四球	一安		中3		遊失							
1	走	藤原 宙	0	0	0	0													
1		原田 昇也	1	0	0	0							三振						
2	二投	小橋 志音	2	2	0	0	四球		一飛	死球		遊失		四球					
3	投遊	品川 知哉	3	2	2	2	中2		左本	*1		*1	三併						
4	三三	尾向 亮太	4	2	0	0	死球		三振	三振		一失		三振					
5	捕	山崎 蓮	4	1	0	1	四球		三振		三振	三ゴ		三振					
6	左	高木 天晴	3	1	0	1	投ゴ		死球		遊ゴ	四球		三振					
7	一	松本 陸	5	0	2	2	左安		三振		左安	二飛		遊ゴ					
8	右	山本 雅心	1	0	0	0	死球		三振										
8	打	シャハリアル ルンマン	1	0	0	0					三振								
8	右中	米本 龍司	1	0	0	0							三失						
9	遊二	新田 琢己	4	0	0	0	遊飛		三振		遊飛	二飛							
合計			32	10	6	6	残塁:9 併殺:1												
備考			*1は申告故意四球																

#### ■バッテリー

投手	捕手
品川 知哉	山崎 蓮
小橋 志音	
品川 知哉	
尾向 亮太	

#### ■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
品川 知哉	4	20	1	8	7	2	87
小橋 志音	1	6	1	1	1	0	28
品川 知哉	2	9	1	2	1	0	32
尾向 亮太	2	7	0	1	4	0	31

#### ■戦評

大会2日目、駒沢オリンピック公園硬式野球場で行われた第1試合は2回戦、初出場の東海地区代表クラーク記念国際高校・名古屋・通信制と同じく初出場の西中国地区代表広島市立広島みらい創生高校・定時制・通信制の連合チームの対戦となった。広島みらい創生は初回打者一巡の猛攻で5得点。2回は3番品川のレフトネット上段への本塁打により1点追加。4回にもクラーク記念国際・名古屋の守備の乱れをつき4点を追加し得点を重ねていった。一方クラーク記念国際・名古屋も広島みらい創生の失策からチャンスを作り2回以降毎回得点を奪った。広島みらい創生先発の品川はMAX130キロ越えのストレートを武器に4回まで要所を締める投球で投打にわたり活躍した。クラーク記念国際・名古屋も1回途中から登板した伊藤が135球12奪三振と力投したが一歩及ばず惜敗となった。3時間近くの試合となったが選手一人一人は諦めることなく最後まで全力でプレーしていた。両チームともに登録選手が全員出場する総力戦となったが最後は広島みらい創生が10-6でリードを守り切る形となった。